

受理番号	受理年月日	付託委員会	審査結果
1	令和8年2月13日	厚生	不採択
件名	物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願		
紹介議員	上野 公悦、橋爪 法一、平良木 哲也		
請願の要旨			
<p>【請願要旨】</p> <p>(1) いま年金生活者は、異常な物価高が続く中で苦しい生活を強いられている。おコメは高値が続き、野菜などの生鮮食料品などに加え、電気・ガスや灯油など生活に欠かせない消費品目での高騰が続いている。年金生活者の間では、「買い物は夕方になって、スーパーの値引き品を狙って行く毎日である」などの声が寄せられている。エアコンがあっても、電気代がかかるからと我慢して過ごしている。</p> <p>(2) 現在、年金額改定は、前年度の年金額に物価または賃金の変動率（伸び率の少ない方）を乗じ、さらに「マクロ経済スライド」による調整率を乗じて、算出される。2025年4月の改定では、物価が2.7%上がっているにも関わらず、年金額はマイナス0.8%の1.9%の上昇で改定された。このように物価に追いつかない年金額改定が続き、2013年度からの13年間で物価は14%上昇したが、年金は5.4%しか上がらず、8.6%も実質的価値が目減りした。先月末に発表された2026年度の年金改定では、物価が3.2%も上昇したのに対し、国民年金は1.9%、厚生年金は2.0%増にとどまり、またしても、物価に追いつかぬ年金改定となる見込みである。</p> <p>(3) 年金だけでは生活できず、老骨に鞭打って仕事に就く高齢者が912万人と過去最多になったと報じられている。また、働くことのできない高齢者世帯は、やむをえず生活保護に頼らざるを得ず、いま生活保護世帯の56.1%の90万5000世帯に及び、さらに増えつつあると報じられている。</p> <p>(4) 年金生活者が共通して受給している老齢基礎年金（国民年金）の平均受給額は、新潟県の調査によれば、上越市では月額62,400円（2025年3月現在）である。国民年金だけで暮らしている方は、市内で約5500人と推計されている。この間、消費税は5%から10%へと2倍になり、介護保険料や利用料、国民保険料や窓口負担がアップされ、物価の上昇に対して、毎年毎年、目減りしていく年金だけではとても暮らしていけないのが実態である。</p> <p>(5) 全国政令都市20市は2020年に、国に対し「公的年金制度そのものが高齢者や障害者の生活を安定して支えるものとなるよう、老齢基礎年金の支給額の改善をされるよう要望する」と要請している。</p> <p>(6) 将来年金を受給される若い世代も、現在の年金減額の流れを止めないと、2057年度まで2割も減り続けるとされ、大変な問題である。異常</p>			

な物価高が続くいま、直ちに物価上昇に見合う年金額を引き上げ、若者も高齢者も安心して暮らしていけるように、下記事項について地方自治法99条に基づいて、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を送付されるよう要請する。

【請願事項】

1. 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額を改善すること。
2. 若者も女性の高齢者も安心して老後を暮らせるように改善をはかること。